広報

2005 4 April

平成17年4月1日発行
第543号

いしかわ

SAKURA SUGI UGUISU

町が好き、人が好き、みんなでつくる町が一番好き

CONTENTS

ありがとう！保育所・児童館・幼稚園――2
平成17年度予算公表――4
合併50周年記念――8
街かど探検隊・カレンダー――10
こんにちは・みんなの広場――12
生涯学習コーナー、ほか――14
国保だより、ほか――15
小さな美術館、ほか――16

とう！

で〝まなんだ〟

童館・幼稚園

平成17年3月31日、保育所再編により石川町から9つの保育所・児童館・幼稚園が姿を消します。昭和54年4月、現在の町営になる以前から、これらの施設は農繁期開設の季節保育や父兄が交代で保育するなど地域によってさまざまな形態をとり、多くの子供たちを見守り育んできました。

ほんとうにありがとう。そしておつかれさまでした。

新田保育所

昭和27年開所　閉所時児童数13人

母畑保育所

昭和33年開所　閉所時児童数８人

中谷児童館

昭和44年開館　閉所時児童数９人

谷沢保育所

昭和43年開所　閉所時児童数21人

あ り が

みんな〝あそん

保育所・児童

山形保育所

昭和47年開所　閉所時児童数９人

板南保育所

昭和38年開所　閉所時児童数23人

外槙保育所

昭和30年開所　閉所時児童数13人

野木沢幼稚園

昭和55年開園　閉園時園児数30人

中田保育所

昭和39年開所　閉所時児童数11人

平成17年度 予算公表

平成17年度の石川町の歳入・歳出予算が、3月定例議会において可決されました。

今月号では、みなさんが納める税金や国・県からの補助金が、私たちの生活をより良くするために、どのように使われていくのかお知らせします。

第4次総合計画 〝キララ21プラン〟

人・自然が融け合う
あぶくま高原都市
いしかわを
めざして

平成17年度当初予算は、第4次総合計画「キララ21プラン」を踏まえ、「人・自然が融け合う　あぶくま高原都市　いしかわ」の実現に向け、5本の柱を基本として編成しました。

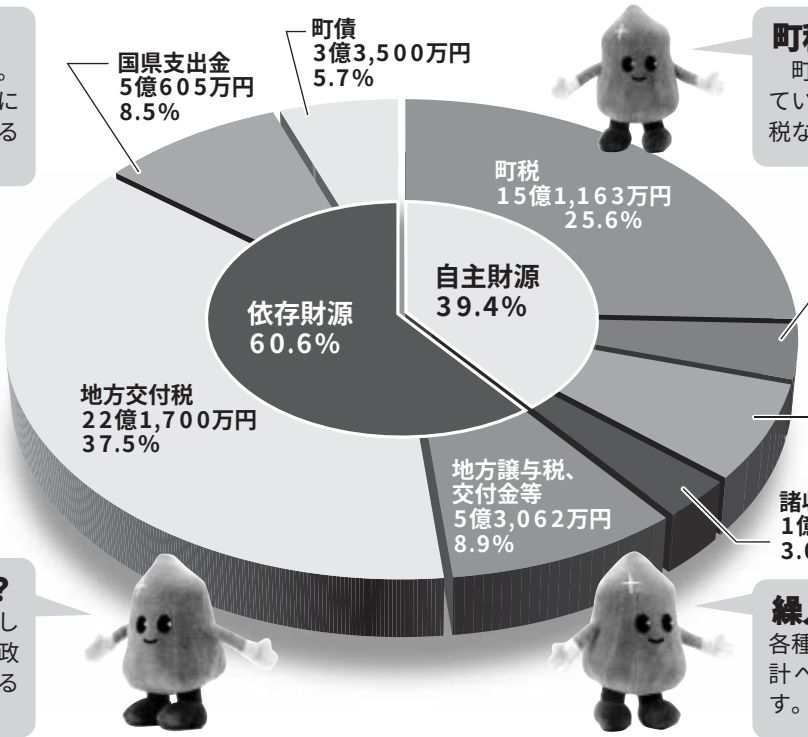
全体として財政規模を縮小する中にあって、町民にとって真に必要な事業の実施や、町民参画の地域づくりに向けた取り組みを推進してまいります。

みんなの暮らしに生かします

59億790万円

特別会計を合わせると**108億2,911万円**

歳　入



町債とは？
町の借金のことです。大きな事業を行うために国や金融機関から借りるお金です。

町税とは？
町民の皆さんから納めていただく住民税や法人税などです。

地方交付税とは？
所得税など国が徴収した税金の中から町の財政状況に応じて交付されるお金です。

繰入金とは？
各種基金などから一般会計へ繰り入れるお金です。

歳入

個人町民税については、税制改正等を反映し増加が見込まれ、加えて固定資産税についても新築家屋や償却資産の増加が見込まれます。さらに、軽自動車税やたばこ税も増加の見込みとなり、町税全体では前年度比2・9％増の15億1、163万円となります。

また、地方交付税は算定方法の改定等により21億1、700万円と、前年度比11・1％増を見込んでいますが臨時財政対策債は前年度比29・4％減の2億5、900万円となる見込みで、一般財源の確保においては依然として厳しい状況にあり、不足財源については前年同様役場庁舎等建設基金からの繰入で措置するものです。

歳出

教育・文化

児童・生徒の基礎学力向上に努めるほか、地域ぐるみでの生涯学習まちづくりを推進するとともに、特別企画展として「鳥内遺跡出土遺物展」を開催します。

生活環境

さらなるごみの減量化、環境対策等に取り組み、環境にやさしいまちづくりを推進するほか、道路維持や消防施設整備等、町民生活の安全性・利便性の向上を目指します。

福祉

障害者の就業機会や社会参加など自立支援体制の充実を図るほか、高齢者の実態に沿った介護サービス基盤の整備、介護予防事業等に積極的に取り組みます。また、児童クラブ運営により放課後児童の健全育成活動等、児童福祉の充実に努めます。

産業

農用地の持つ多面的機能を活用しながら、効率的かつ安定的な農業経営、多様な消費者ニーズに対応した農作物の生産を推進します。また、石のまちづくり事業等、地域資源の活用を促進します。

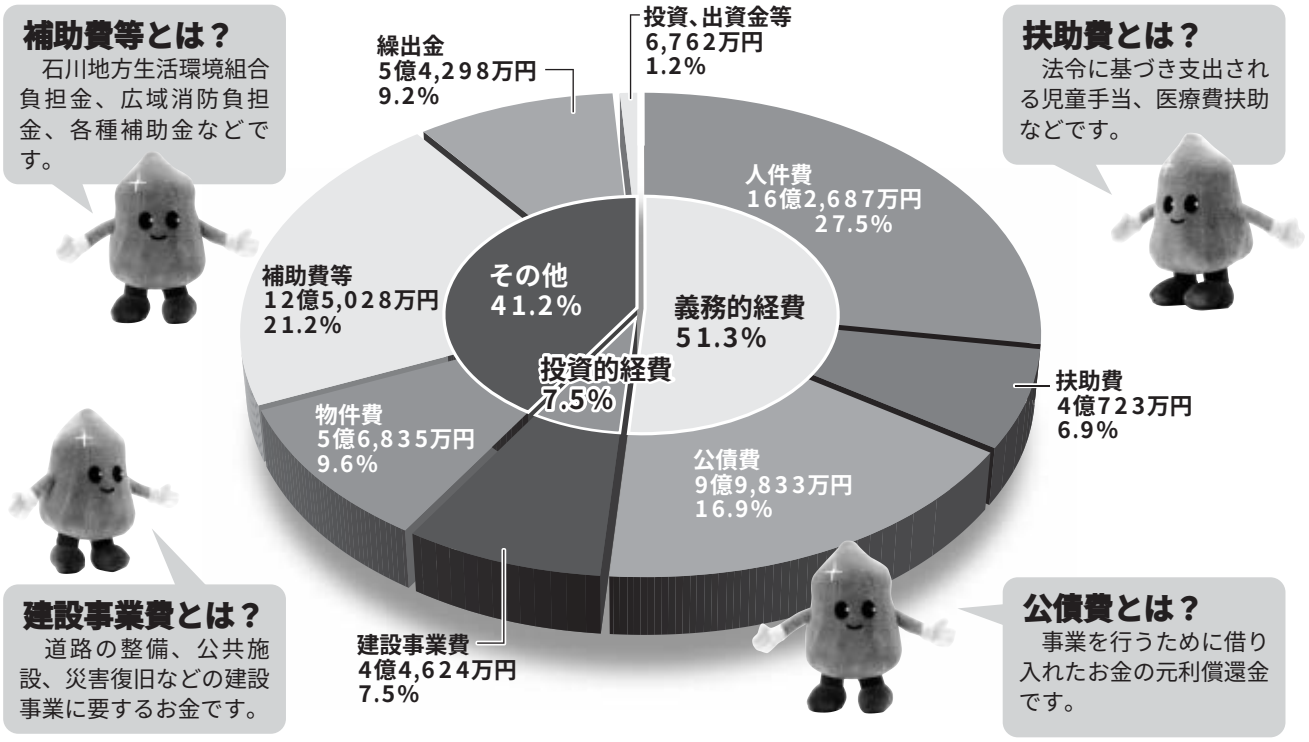
町民総参加

美しいまちづくり事業として、各行政区及び地域づくり団体等が実施する対象事業に対して助成するとともに、町民号事業等の実施により、町民と行政の交流を深めます。その他、石川町合併50周年を迎えるにあたり、町民とともに意義ある記念事業を実施します。

一般会計当初予算の総額は59億790万円となり、前年度より3億1、390万円、率にして5・0％の減少となります。

また、特別会計を含めた総額は、108億2、911万円となり、前年度より、3億2、312万円、率にして2・9％減少となります。

歳出



平成１７年度 主な事業

平成17年度も厳しい財政状況下での予算編成になりましたが、一般会計・特別会計から主な事業として総額69億2,727万円を５つの柱に配分しました。特に「人にやさしく健康で安心して暮らせるまち」（福祉）に52億円が当てられています。

1 心豊かに学ぶ力をつなぐまち（教育・文化） 9,058万円

①明日を担う人づくりのために　7,994万円
外国青年招致事業、小・中学校教育振興費、生涯学習推進事業、スポーツ育成事業など

②歴史を学びあい個性豊かな社会をつくるために　1,064万円
鉱物調査報告書作成経費、文化財普及活動事業、町史編纂事業など

▲合併50周年記念の鉱物展が開かれます

2 自然と調和し安全で快適なまち（生活環境） 10億6,820万円

①自然と共生する社会をつくるために　5億4,337万円
エネルギー推進事業、環境監視員設置事業、石川地方生活環境施設組合負担金など

②快適な都市基盤の整備をめざすために　5億1,724万円
定住促進事業、浄化槽設置整備事業、緊急地方道路整備事業、簡易水道事業など

③安全で安心な地域社会を目指すために　759万円
防犯施設整備事業、消防施設整備事業

▲大規模な防災訓練が行われます

3 人にやさしく健康で安心して暮らせるまち（福祉） 52億8,370万円

①やさしさと思いやりをもって共に生きるために　17億6,132万円
児童クラブ運営経費、母子保健事業、国民健康保険事業など

②みんなが安心していきいきと暮らすために　35億2,238万円
介護保険事業、障害者福祉事業、救急医療事業、老人保険事業など

▲デイサービス「長生園」

衛生費

52,844円

日用雑貨代です。
健康維持やゴミ処理に使われます。

民生費

63,686円

医療費です。子どもやお年寄り、体の不自由な方を助けるために使われます。

公債費

52,555円

住宅や車のローンです。
町の事業の借金を返すお金です。

一人当たりのサービス額＝給料

311,008円

ここでは町の予算を皆さんの家計に照らし合わせ説明します。
年間の一人当たりのサービス額＝年間の収入と考えてください。

▲消費者に求められる農産物の生産

4 活力に満ちたたくましいまち（産業） 4億2,858万円

①環境変化に柔軟な産業育成のために　3億7,209万円
園芸作物振興事業、畜産振興事業、森林整備地域支援事業、中小企業対策事業

②地域資源を有効に活用するために　5,649万円
石のまちづくり事業、観光宣伝事業

▲オーストラリアの研修事業

5 町民とともに歩むまち（町民総参加） 5,978万円

①町民総参加の推進　3,815万円
美しいまちづくり事業、オーストラリア研修事業

②開かれた行政の推進　545万円
総合行政ネットワーク事業、住民基本台帳ネットワークシステム事業

③効率的な行財政運営の推進　1,618万円
町村合併関係費、道路台帳整備事業

水道事業会計予算

区分			予算額	16年度
収益的収支	収入	営業収益	2億6,660万円	2億6,607万円
		営業外収益	101万円	13万円
		特別利益	2万円	2万円
		計	2億6,763万円	2億6,622万円
	支出	営業費用	2億1,078万円	2億1,121万円
		営業外費用	2,974万円	3,102万円
		特別損失	108万円	30万円
		予備費	100万円	100万円
		計	2億4,260万円	2億4,353万円
資本的収支	収入	建設負担金	155万円	155万円
		工事負担金	1万円	1万円
		国庫補助金	691万円	925万円
		計	847万円	1,081万円
	支出	建設改良費	4,213万円	6,263万円
		企業債償還金	3,421万円	3,179万円
		国庫補助金返還金	46万円	
		予備費	100万円	100万円
		計	7,780万円	9,542万円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額6,934万円は、当年度損益勘定留保資金4,866万円、建設改良積立金1,875万円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、193万円で補てんするものとする。

特別会計予算

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	17億5,904万円	2.6%
老人保健	19億6,759万円	2.9%
介護保険	9億3,462万円	△9.6%
母畑財産区	80万円	47.8%
中谷財産区	80万円	△6.2%
石川地方町村心身障害児就学指導審議会	25万円	0%
土地開発事業	514万円	1.9%
簡易水道事業	2億939万円	△2.7%
宅地造成事業	4,357万円	△10.7%

消防費ほか

29,142円

雑費です。
消防活動などに使われます。

土木費

15,704円

家の修理代、増築費です。
道路や河川、住宅、都市整備に使われます。

農林水産事業費

21,143円

食費です。
農業や畜産業、林業に使われます。

教育費

29,228円

学費です。
学校教育や公民館事業で使われます。

総務費

46,706円

水道光熱費です。
役場全体の事務、戸籍、選挙などに使われます。

石川町合併50周年記念特集

人のまち石川 共に未来へ…

四季折々の彩と、穏やかな気候に恵まれた石川町、悠久の歴史の中で人々の暮らしが営まれてきました。

一〇六三年、石川有光公がこの地に移り住み、石川地方の開発が始まりました。その後、幾度もの変遷を経て、一九五五年三月、石川町・沢田村・山橋村・中谷村・母畑村・野木沢村が合併し現在の石川町が誕生しました。

人情味あふれる人々が、一人ひとり大切な宝物を育み生活する。この一つひとつの宝物が時には集い、時にはぶつかり合い、大きくなったり、形を変えたりしながら輝き、この地を照らします。

ふるさとに永久の暖かい光を照らしてくれる宝物「人」人のまち石川、共に、そして未来に…。

いしかわ、50歳のプロフィール

本町は福島県の中通り南部、阿武隈高地の西側に位置し、総面積は115.71　で阿武隈川流域の平坦地と阿武隈高地に連なる山間地から形成され、市街地は町のほぼ中央を流れる今出川に沿って開けています。

現在の人口は、約1万9千人、国道118号線、JR水郡線が南北に走り、空の玄関福島空港にも近接、石川地方の政治、経済、文化の中心地として栄えてきました。

合併50周年を迎えて

石川町長
西牧立博

本町は昭和30年3月31日に旧石川町、旧沢田村、旧山橋村、旧中谷村、旧母畑村、旧野木沢村の1町5村が合併して誕生し、本年3月31日をもって50周年を迎えることができました。

この間、歴代町長をはじめとしてこれまでまちづくりに関わってこられた多くの先人のたゆまない努力により、教育、文化、スポーツ、福祉、産業、道路網など様々な生活・産業基盤が着実に整えられ、大きな伸展をみることができたものであり衷心より感謝を申し上げます。

現在、国内外の情勢は大きく変貌しつつあり、かつての高度経済成長からバブル経済の崩壊による景気の低迷、少子高齢化社会の到来、さらには地方分権時代へと本町にとりまして、最も大きな試練を迎えております。このような中、この半世紀に及ぶまちづくりの成果を踏まえながら、将来にわたってさらに発展できるよう、全力を尽くしてまいる所存であります。

本町はご承知のとおり阿武隈の山並みに囲まれた自然の豊かな町です。この貴重な自然との共生を図りながら循環型社会の形成に取り組み、子や孫の時代にも受け継ぎ、将来像である「人・自然が融け合うあぶくま高原都市いしかわ」の実現に向けて最善の努力をしてまいりますので、どうぞ皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

石川町議会議長
酒井利治

本町は、本年、昭和30年3月31日に1町5か村が合併してから50年という節目の年を迎えました。

この間、社会、経済情勢が大きく変貌する中にあって、町民の皆様が豊かで住みよいくらしが営まれるよう教育施設、生活環境施設、更には、産業基盤の整備充実等社会資本の整備をはじめ保健・福祉等各般にわたる施策が進められ、町勢の着実な進展が図られてまいりましたことは、大変喜ばしいことであります。

こうした成果は、ひとえに、国県による指導はもとより、歴代の町長を初めそれぞれの分野において町勢伸展のためさまざまなご苦労と熱意を傾けられた多くの町民の皆様の永年にわたるご尽力、ご協力の賜であり、心から敬意と感謝を申し上げます。

新しい世紀を迎え、時代の転換期ともいえる今、少子・高齢化の急速な進展、三位一体の改革、さらには長引く景気低迷と、本町を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、先人の築かれた今日までの尊い歴史を振り返るとき、現下の厳しい地方経済の活性化を図り、一層の町民福祉向上の道を切り拓いていかなければならないとの思いを強くするところであります。

この記念すべき年にあたり、町議会といたしまして、なお一層の町勢伸展と町民生活の安定、向上のため更に精進し、町民の負託に応えるべく努力していかなければならないとの決意を新たにしたところでありますが、町民の皆様におかれましても、今後とも町勢伸展のため、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

合併50周年記念特集について

広報いしかわでは、今回より一年間12回に渡り合併50周年記念の特別特集を掲載します。ぜひご覧ください。

町の鳥「鶯（うぐいす）」

優しく美しい声を持ちながら風雪にも耐えるたくましい姿は、情操豊かな町民の心のシンボル。公害のない美しい自然環境の町にふさわしい鳥です。

町の木「杉」

荘厳にそびえる三芦城跡の杉は歴史と伝統を誇る石川のシンボル。大空に伸びる杉に、躍進する町の願いが込められています。

町の花「桜」

名木高田桜をはじめ、町の川沿いに見事に咲き誇る桜並木、わが石川のシンボル。華麗な町のイメージが託されています。

町　章

石川町の頭文字「イ」と「シ」を組み合わせて図案化したもので、飛躍発展と平和を象徴しています。
（昭和41年１月12日制定）

かど探険隊

取材します！ 身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。

食の循環を白鳥にエサを運びます

2月8日、沢井白鳥池の白鳥に茨城県五霞市にある焼肉レストラン安楽亭の関連グループの㈱サリックスマーチャン ダイズシステムズから米が贈られました。

これは、鈴木崇義さん（坂路）が肉牛を出荷している同社へ見学に訪れた際、廃棄物として処分される大量の規格外米を見つけ、エサ不足で悩んでいた白鳥へと運んできました。 鈴木さんは「安心でおいしい農産物」が求められる昨今、石川町から農産物が出荷され、処分されるはずの米を白鳥のえさとして持ち帰る「食の循環」が出来ればと話していました。

第23回石川スケート大会を開催

2月13日、母畑レークサイドセンター内石川スケートセンターで、第23回石川スケート大会が開かれました。

一般の部やスピードスケートの部に幼児から成人まで69人が出場しました。

スケートを始めたばかりの子供たちも多く出場し、上級者のスピードやコーナーをかけぬける技に驚きと尊敬の歓声を上げていました。

競技役員、応援の父兄たちも、保護者会の皆さんによるトン汁の振る舞いにアットホームで楽しい一日を過ごしていました。

東京いわき石川会 情報交換懇談会

2月20日、東京都中野サンプラザで東京いわき石川会（川島信治会長）と石川町との情報交換懇談会が開かれました。

東京いわき石川会が新執行体制になり初めての情報交換懇談会には川島会長をはじめ理事の皆さん16人が参加。町からは西牧町長、酒井議長を始め10人が参加し、首都圏との情報ネットワークづくりの提案や、町に対する外部からの提言などを載きました。

参加者は、今後もふるさと石川町発展のために有意義な情報提供を続けていくことを確認しました。

石川町民号 川中美幸特別講演観劇の旅

2月26日、東京都明治座へ向け第17回石川町民号が出発しました。

町民号は、水郡線の利用向上と町民の親睦交流を図るため行われており、今回で17回目となりました。この日は、川中美幸特別講演観劇の旅に160人が参加。朝5時にJR磐城石川駅を出発、特別列車でJR上野駅を経由し明治座へ向かいました。

往復の車両の中では、石川まさるさん田口清さんの歌謡ショーやカラオケ大会、ビンゴゲームなど楽しいイベントで一日を満喫しました。

CALENDAR

石川町４～５月の主な予定

４月 ● April

15	心配ごと相談（10:00～）	老人福祉センター
16		
17	消防団春季検閲式	町民グラウンド
	在宅当番医	中島病院
18		
19	すくすく教室（9:30～）	保健センター
20		
21	三種混合（12:30～）	保健センター
	ねんきん相談（郡山社会保険事務所）（10:00～）	勤労青少年ホーム
22		
23	早朝ウォーキング（6:30～）	クリスタルパーク石川
	高校春季選抜ソフトボール大会県南地区予選（～24日）	町民グラウンド
24	在宅当番医	中島病院
25		
26		
27	１歳児健診（9:30～）	保健センター
	心配ごと相談（10:00～）	老人福祉センター
28	３歳児健診（13:00～）	保健センター
29	みどりの日	
	在宅当番医	ひらた中央病院
30		

５月 ● May

1	在宅当番医	中島病院
2		
3	中体連春季大会	町民グラウンド外
	憲法記念日	
	在宅当番医	ひらた中央病院
4	法定休日	
	在宅当番医	ひらた中央病院
5	少年野球教室	町民グラウンド
	こどもの日	
	在宅当番医	ひらた中央病院
6	ひまわり教室（9：30～）	保健センター
	２歳児教室（9：30～）	保健センター
	心配ごと相談（10：00～）	老人福祉センター
7		
8	母の日	
	在宅当番医	あつうみ内科医院
9	１歳児健診（9：30～）	保健センター
10	すくすく教室（9：30～）	保健センター
11		
12	3～4ヶ月児健診（13:00～）	保健センター
	ＢＣＧ（13：00～）	保健センター
13		
14	サタデーひろば・サタデーイングリッシュ開講式	中央公民館
15	早朝ウォーキング（6:30～）	あさひ公園
	在宅当番医	中島病院

街

それぞれの夢に向け高校卒業式

３月１日、学法石川高校と県立石川高校で、卒業式が行われました。

今年度、町内高校を卒業する生徒４６５人が新たな気持ちで学び舎をあとにしました。

県立石川高校（菱沼孝校長）では、卒業生１２７人が一人ひとり呼名されクラス代表に卒業証書が授与されました。

厳粛な中にも、生徒たちのさまざまな思い出や感謝の心があふれ、感動の涙を流す場面もあり、それぞれが自分の夢に向け巣立っていきました。

手づくりのひな祭りを楽しむ

３月３日、第二保育所で３月生まれの誕生会と併せてひな祭り会が行われました。

この日のために、子どもたちや保護者、先生が協力してつくった手作りのひな人形をかざり、歌を唄ったり、先生の人形劇や手品を見たり、途中で誕生日の子どもたち４人がお内裏様と、お雛様の衣装で登場すると、みんな「きれい」や「自分も着てみたい」と大きな歓声をあげていました。

子どもたちは手作りでアットホームなひな祭り会に、暖かく楽しい時間をすごしました。

こんにちは

みんなの広場

青春ど真中Q&A

双里字谷津
相楽　春海さん
（23歳）

職業▽3月まで山形保育所に勤務していました。4月からは、しばらく休養しながらやりたい仕事を探したいと思います。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

A スノーボードとアンパンマン集めです。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください

A 自分の子供は自分で子育てしたいと思うので、専業主婦になりたいと思います。

Q 町政に望むことはなんですか

A みんなが気軽に使える施設があればいいと思います。（子どもたちが遊べる広い公園など）

Q 最後に理想のタイプは

A やさしくて、一緒にいて楽しい人。お互いの意見を尊重できる人。

次回は、相楽さんの紹介で岩谷　隆行さんです。

ほのぼの二人三脚Q&A

住所／母畑字牛沼

滝口　忠一さん（75歳）
ミンさん（71歳）

Q お子さんは何人ですか

A 子どもは2人授かり、孫が5人になりました。

Q 結婚されて50年、思い出を聞かせてください

A 私たちは昭和29年4月に結婚。葉タバコ、水稲、和牛の農家をしていました。また昭和40年頃までは、かやぶき屋根を葺く職人だったので夏場は農作業小屋、冬場には住宅の屋根を手がけるため、須賀川や白河方面まで泊り込みで作業に出かけ、妻にも苦労をかけました。現在は夫婦で温泉などに行ったりのんびりと過ごしています。

Q お二人の楽しみは何ですか

A 忠一さん　庭木づくりと釣りです。
ミンさん　野菜の栽培です

Q 石川町の一番好きなところを教えてください

A 母畑のレークサイドに整備されている遊歩道は、アジサイやツツジなど四季折々の景色や花を見ながら散歩ができる美しいところです。

Q 町政に望むことは何ですか

A あぶくま高原道路に関連して、石川IC（牛沼地内予定）から堀の内を経由し藤扱沢に抜ける町道213号線の整備をお願いしたいです。

HAPPY Smile ハッピースマイル

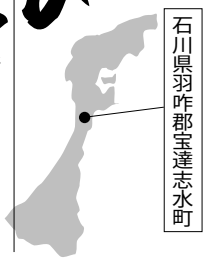
中島　茜（あかね）ちゃん
平成14年9月21日生まれ

「明るく思いやりのある人になってください！」
みどりママより
（沢井字竹柄）

遠藤　鴻太（こうた）ちゃん
平成15年7月29日生まれ

「お兄ちゃんと仲良く遊んで、元気いっぱい大きくなってね！」
さおりママより
（古舘）

私のふるさと



下泉
松下　亮介さん

◆あなたの故郷はどんな所ですか

石川県のほぼ中央、能登半島の付け根に位置する人口約１万６千人、石川県宝達志水町です。美しい日本海に面し、全国でも珍しい砂浜を約８　にわたりドライブできる「なぎさドライブウェイ」は観光名所として多くの人が訪れます。

実家から海が近かったので夏休みなどは毎日歩いて遊びにいきました。夕方になると日本海に沈む夕焼けがとても美しかったことを思い出します。

◆いつ、石川町に来ましたか

平成12年に来ました。

◆石川町の印象は

昨年から秋祭りに参加しましたが、各町の伝統や結束力をつよく感じました。また、皆さん、面倒見がよくあたたかい人ばかりで、すぐに打ち解けることが出来ました。

◆町政に望むことは何ですか

住環境の整備と子どもたちを安心して育てられる環境整備です。

募　集　案　内

みんなの広場では各コーナーに登場していただける方を募集しています。お気軽にご連絡ください。

総務課広報広聴係
☎26－2112

しゅう　だん
あつ　あたた
集暖
まれば　かい

●サークル紹介コーナー● 第1回

水中セラピー

私たちは、50代から80代の元気なみんなが、インストラクターの指導のもと、プールで水の抵抗を使った体操やゲーム形式の運動で、わきあいあいと楽しみながら健康増進をはかっているサークルです。

会長の小川さんは86歳、水中セラピーをはじめてから風邪で寝込んだこともなく、とても元気です。はじめは杖をついてきた会員の方も、今ではしっかりとした足取りで元気に通っています。

参加してみませんか？

水中セラピーは初めての方でも出来る簡単な運動です。

●毎週木曜日　午後1時半～2時半
●石川町屋内温水プール
●会費1回500円程度
●中高年のための体力維持増進運動

▶インストラクターの指導でだれでも簡単に！

●生活習慣病や膝痛・腰痛の予防
水中なので誰でも無理なく参加出来ます。

●**連絡先**　会長　小川ミツエ
●**電　話**　26－5318

◀楽しいゲーム感覚で

保健センターだより 第1回

「思春期の子どもと向き合うために」

県の教育委員会が中学生の子どもを持つ保護者に「15歳になる前に」というパンフレットを配布しました。ごらんになりましたか。

親の思春期の頃とは、ずいぶん違っていることだと思います。まして、今の現状はおじいちゃんやおばあちゃんの時代では考えられないことばかりだと思います。福島県の高校生の性の現状が載せられています。思春期のわが子と向き合うために、多くのヒントがありますので、家庭でいろんなことを話す機会にして欲しいと思います。

この本にも載っているのですが、やはり「家庭は教育の原点…」といわれ、それは親も何度となく聞き、心に刻んでいることですね。乳幼児の頃のしつけや愛情深く子育てしてきたことが思春期に出てきます。親のやさしさと厳しさを兼ね備えた、豊な愛情によって身も心もともに成長してゆくわけですが…。

家庭の中での性教育は、両親が妻として夫として、相手を大切に思い支えあう姿を見て、子どもは学びます。思春期以降、親のメッセージは「言葉」では伝わりにくく、伝わるのは、親の「態度」であり、「姿勢」なのです。みなさまのご家庭ではいかがですか。ぜひ、話題にしてみてください。

完全学校週5日制対応事業

「紙飛行機作りに挑戦」

石川町中央公民館事業「ぼくもわたしもチャレンジャー」では、2月26日(土)中央公民館で町内の小学生14人が参加し、紙飛行機づくりに挑戦しました。参加した子ども達は工夫しながら思い思いの飛行機をいくつか作成し、出来上がった飛行機を体育館で早速飛ばしてみました。真下に落下してしまうものや真横に飛んでしまうものなどありましたが、子ども達は調整を加えながら納得のいくものを作り上げました。

最後に全員で、飛行距離を競う大会を行いました。中には20メートル以上飛ぶものもあり、大会はとても盛り上がりました。

▲どこまでも飛んでいけ！

町史編纂室だより 92

お待たせしました 石川町史第6巻『文化・旧町村史』今月発刊

石川町史全8巻（1巻は別巻で発行済）の2巻目、本巻では最初の巻を発行します。内容・装丁ともに新しいスタイルです。本書の特徴は専門家と地元研究者二五名よる執筆と、話者あるいは資料提供者としてたくさんの町民、町出身者の協力があり「町民参加の町史編纂」を実現したところにあります。このことは、市町村史として希有なことです。B5版六三〇、定価三〇〇〇円。町内の書店でお求めください。お問い合わせ先・町史編纂室（☎26・9138）。全巻予約も受け付けています。つぎに本書の章と執筆者（敬称略）を紹介します。

文化（監修・小林清治福島大学名誉教授　第1章学術・思想・文芸　山田英明（県歴史資料館）・西牧歌子（新町）他　第2章美術・工芸・建築　堀宣雄（県立美術館）・故鈴木寛（板橋）・高橋信一（県文化振興事業団）・若林繁（県立博物館）・我妻正一（浅川）・草野和夫（東北工業大名誉教授）・高橋恒夫（東北工業大教授）　第3章スポーツ・文化活動と報道　務川裕子（新町）・安藤敬男（立ケ岡）・佐川保博（双里）・曽根文彦（下泉）・曲山恭彦（下泉）・加藤健（南町）　第4章教育　有賀究（形見）・前田三男（屋敷入）・近内長重（中野）他　第5章宗教　若松富士雄（元田村高校教諭）　第6章文化財・史跡・天然記念物　阿部武（中野）・橋本悦雄（日本地学会会員）

旧町村史（監修・安在邦夫早稲田大教授　序章旧一町5ヶ村の成立とその時代　有賀究他　第1章石川町　小針良文（双里）前田成規（沢井）他　第2章沢田村　前田邦輝（沢井）・三森和典（沢井）・吉田利昭（沢井）　第3章野木沢村　鈴木吉重（中野）　第4章母畑村　佐原崇彦（前母畑小教諭）　第5章中谷村　有賀究　第6章山橋村　渡辺実（北山形）付章公共機関・旧公共機関の沿革　遠藤正（当町）

メモリーコーナー

MEMORY CORNER

（平成17年２月１日～２月28日まで届出分　敬称略）

こんにちは赤ちゃん

氏　名	保　護　者	住　所
円谷　映月（えるな）	（隼　人・　香　）	中　野
瀬谷　陸空（りく）	（保　洋・美　穂）	湯郷渡
小松　珠依（しゅい）	（浩　二・順　子）	南山形
郷　政時（まさとき）	（直　明・真　弓）	大字新屋敷
吉田　拳斗（けんと）	（　実　・香　織）	中　野
永沼　綾香（あやか）	（政　雄・美　紀）	湯郷渡
渡邊　冬衣（ふゆえ）	（靖　夫・恵美子）	北　山
遠藤　万朋（まほ）	（正　志・俊　江）	王子平

カップル誕生

新　郎　新　婦（出身地）
岸浪　　正（大字新屋敷）・深谷美由紀（須賀川市）
小平　　忍（屋敷入）・佐川美知子（東　村）
溝井　吉一（猫　啼）・渡部　睦美（東京都）
水野谷　悟（沢　井）・鈴木真理子（玉川村）

おくやみ

氏　名	住　所
小　湊　常　勝	山　形
鈴　木　正　夫	母　畑
飯　島　定　吉	塩　沢
岡　本　ヨシノ	湯郷渡
小　針　正　二	北　町
矢　吹　康　昌	曲　木
近　内　セ　ン	中　野
矢　吹　マ　サ	中　田
郷　　良　子	大字新屋敷
佐　川　トミ子	沢　井
二　瓶　由　光	中　野
添　田　チヨノ	北山形

国保だより

国保の届け出

国保に加入・脱退するときは、**世帯主**が届け出をしなければなりません。また、届け出なければ受けられない給付もあります。

下表のようなときは、必ず**14日以内**に国保の担当窓口に届け出をしましょう。

◆加入の届け出が遅れると…

国保に加入しなければならないのに、届け出が遅れると、保険税をさかのぼって納めることになります。また、保険証がないため、その間の医療費は全額自己負担となります。

◆脱退の届け出が遅れると…

国保の資格がなくなったのに、脱退の届け出が遅れると、ついうっかり国保の保険証を使って診療を受けてしまうことがあります。この場合は、国保が負担した医療費を、あとで返さなければなりません。

◆外国籍の人も加入

外国人登録を行っていて、日本に１年以上滞在する人も、国保に加入しなければなりません。ただし、職場の健康保険に加入している人などは除きます。

	こんなとき	持参するもの
加入するとき	他の市区町村から転入してきたとき	転出証明書・印かん
	健康保険などを脱退したとき	健保の離脱証明書・印かん
	子どもが生まれたとき	保険証・母子健康手帳・印かん
	生活保護を受けなくなったとき	保護廃止決定通知書・印かん
	外国籍の人が加入するとき	外国人登録証明書
脱退するとき	他の市町村へ転出するとき	保険証・印かん
	健康保険などに加入したとき	国保と健保の保険証・印かん
	死亡したとき	保険証・死亡を証明するもの・印かん
	生活保護を受けるようになったとき	保険証・保護開始決定通知書・印かん
	外国籍の人が脱退するとき	保険証・外国人登録証明書
その他	退職者医療制度に該当したとき	年金証書・保険証・印かん
	住所・世帯主・氏名などが変わったとき	保険証・印かん
	保険証をなくしたり、破損して使えなくなったとき	使えなくなった保険証・身分を証明するもの・印かん
	修学のため、子どもが他の市町村に住むとき	保険証・在学証明書・印かん
	長期出張などで別個の保険証が必要なとき	保険証・印かん

今月の納期

５月２日までに納めましょう

軽自動車税

（全期分）

小さな美術館

●第２１７回
野木沢小学校

施設の紹介	野木沢小学校は新入生３５人を迎え、全校生１４７人が仲良く元気いっぱい学校生活のスタートを切りました。４月・５月は学校前の「希望ヶ丘」がたくさんの桜やつつじに彩られ、私たちは毎日美しい景色に囲まれてのびのびと学校生活を送っています。

セロひきのゴーシュ～月の夜

かわいいインコだよ

柄沢　優典（ゆうすけ）さん（11歳）

月の光に照らされた小屋の中にいるゴーシュと三毛ねこをかきました。三毛ねこに命令されて顔を真っ赤にしてセロを弾くはりつめたふん囲気が表れるように工夫しました。

鈴木　絢音（あやね）さん（7歳）

学校でかっているインコのえです。はねのいろがとってもきれいで、かわいいインコです。おともだちといっしょに見ているところをかきました。

編集後記

妻を介護する夫。動けない、話せない妻がいつも手をあわせてありがとうをする。そんな妻を見て夫は、「そんなことしないでくれ。君はもっと長い年月たくさん僕の世話をしてくれたじゃないか。」

福祉の時代になりました。社会環境の変化で家庭での介護が難しくなって来ています。

もう一度「ありがとう」の意味を考え直してみたいと思っています。　（吉田知克）

町の人口

●3月1日現在住民基本台帳●

	18,943人	（－30）
男	9,245人	（－21）
女	9,698人	（－ 9）
世帯数	5,572戸	（－ 4）

（ ）内前月比

ふるさとの花だより

マルバスミレ（スミレ科）

丘陵地から山地にかけて、崩壊地や林道の法面などの土壌がまだ安定していないところに植生。白い花と丸い葉が特徴で、花弁は幅広ですが、中には細めのものもあり、色はときに薄紅色をおびたものもある。

（写真提供／関根政信さん）

表紙の　登場人物

沢田児童館に通う野内貴司さん（左）健裕さん（右）祖父の正則さん（左）祖母の良子さん（右）です。

表紙の写真

【左上段】3月3日行われた第2保育所のひな祭りの様子です。

【右下段】3月11日行われた中学校卒業式の風景です。

編集と発行　福島県石川郡石川町役場総務課　TEL.（0247）26-2112　FAX.26-0360
URL http://www.town.ishikawa.fukushima.jp/　E-mail Koho_K@town.ishikawa.fukushima.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています